



# Japan Beverage Report 2019

環境・社会報告書



人に、街に、地球にうるおいを

# CONTENTS

Japan Beverage Report 2019

- 01 編集方針
- 02 ジャパンビバレッジグループの事業概要
- 03 トップメッセージ
- 05 ジャパンビバレッジグループの事業と取組み紹介

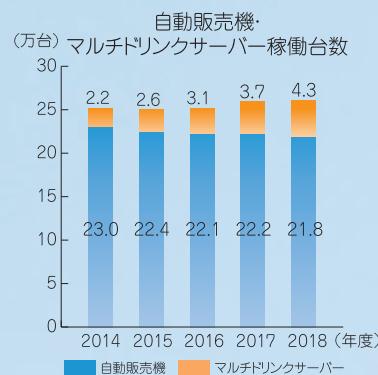
環境報告

- 07 特集1 低炭素をはじめとする持続可能な社会の実現に貢献します
- 09 資源循環の取組み
- 11 環境マネジメント&パフォーマンス報告

社会性報告

- 13 お客様とのかかわり  
特集2 自動販売機・リテール機の価値向上を通じてお客様を支援します
- 15 地域社会とのかかわり
- 17 従業員とのかかわり
- 18 第三者意見

## DATA



## 編集方針

本レポートは、ジャパンビバレッジグループの理念と事業の現状、および環境・社会活動を紹介する会社案内と環境・社会報告書の役割を果たします。

ステークホルダーの皆様に分かりやすくお伝えすることを目的に発行しています。

## 参考ガイドライン

環境報告ガイドライン2018年版

## 報告対象範囲

ジャパンビバレッジグループ

※環境報告および社会性報告のデータの対象が異なる場合は、範囲を別途記載しています。

## 報告対象期間

2018年1月1日～2018年12月31日

※一部、対象期間外の取組みも紹介しています。

## 発行

2019年5月(次回2020年5月予定)



## ジャパンビバレッジグループの事業概要

社名 株式会社 ジャパンビバレッジホールディングス  
 本社 東京都新宿区西新宿一丁目24番1号 エステック情報ビル  
 創業 1958年7月  
 資本金 1億円  
 事業内容 グループ全体の経営戦略の策定・推進  
 自動販売機による各種食品飲料の販売



## 地域販売会社

### 株式会社 ジャパンビバレッジ 北海道

設立 2004年3月  
 本社 北海道札幌市白石区米里一条四丁目6番1号  
 事業内容 自動販売機による各種食品飲料の販売(オペレーション)  
 エリア 札幌・函館・旭川

### 株式会社 ジャパンビバレッジ 九州

設立 2006年3月  
 本社 福岡県糟屋郡宇美町大字井野字岩長浦316番590  
 事業内容 自動販売機による各種食品飲料の販売(オペレーション)  
 エリア 福岡・大分・熊本・長崎・佐賀

### 株式会社 ジャパンビバレッジ イースト

設立 2010年5月  
 本社 埼玉県さいたま市大宮区桜木町一丁目9番地6  
 事業内容 自動販売機による各種食品飲料の販売(オペレーション)  
 エリア 東京(多摩)・埼玉・山梨・栃木・茨城・群馬・長野・新潟

### 株式会社 ジャパンビバレッジ 沖縄

設立 2001年12月  
 本社 沖縄県島尻郡南風原町字喜屋武192番地  
 事業内容 自動販売機による各種食品飲料の販売(オペレーション)  
 エリア 沖縄

### 株式会社 ジャパンビバレッジ 東京

設立 2010年11月  
 本社 東京都新宿区内藤町87番地  
 事業内容 自動販売機による各種食品飲料の販売(オペレーション)  
 エリア 東京(23区)・千葉

### エースター 株式会社

設立 1972年2月  
 本社 千葉県千葉市中央区中央1丁目1番3号  
 事業内容 自動販売機による各種食品飲料の販売(オペレーション)  
 エリア 千葉

### 株式会社 ジャパンビバレッジ セントラル

設立 2010年11月  
 本社 神奈川県横浜市港北区新横浜二丁目13番13  
 事業内容 自動販売機による各種食品飲料の販売(オペレーション)  
 エリア 神奈川・静岡・愛知・岐阜・三重

### 株式会社 ジャパンビバレッジ エコロジー

設立 1995年2月  
 本社 埼玉県さいたま市北区吉野町二丁目272番地5  
 事業内容 飲料容器の再生処理、加工品の販売

### 株式会社 ジャパンビバレッジ ウエスト

設立 2010年5月  
 本社 大阪府大阪市淀川区宮原四丁目3番39号  
 事業内容 自動販売機による各種食品飲料の販売(オペレーション)  
 エリア 大阪・京都・奈良・和歌山・兵庫・滋賀・富山・石川・福井

### 株式会社 ジェイビーサービス

設立 1994年3月  
 本社 東京都新宿区内藤町87番地  
 事業内容 各種保険業と業務の代理、事務代行

### 株式会社 ジャパンビバレッジ 中四国

設立 2006年3月  
 本社 広島県広島市安佐南区八木一丁目12番1号  
 事業内容 自動販売機による各種食品飲料の販売(オペレーション)  
 エリア 広島・山口・岡山・高知・香川・徳島・愛媛・兵庫(淡路島)

### 日新 サービス 株式会社

設立 2008年11月  
 本社 東京都新宿区内藤町87番地  
 事業内容 自動販売機による各種食品飲料の販売

# オペレーション体制構築と従業員満足度

## 自動販売機専業オペレーターNo.1として

ジャパンビバレッジグループは1958年の創業以来、魅力ある商品と最高のサービスを通じて皆様に潤いを提供し、喜びに満ちた空間と出逢いを創造することを理念に事業活動を続けてまいりました。現在は、全国で約26万台の自動販売機・マルチドリンクサーバー等を展開しています。日頃よりジャパンビバレッジグループをご愛顧頂いております皆様に、この場をお借りして厚く御礼申し上げます。

## 新しい自動販売機 オペレーション体制づくり

現在、自動販売機業界は競争が激化しています。

当社は今後も自動販売機専業オペレーターNo.1として事業を行っていくために新しいオペレーション体制づくりを推進してまいります。昨年度から取組んでいる自動販売機の無線システム導入については、今年はさらに設置台数を拡大してまいります。無線システムにより売り切れ防止を図り、お客様が「今飲みたい商品が売り切れていた」という状況を改善してまいります。また、自動販売機1台1台の販売データを離れた場所で取得できるため、オペレーション作業時間の削減にも繋がり、生産性の向上と労働時間削減を両立する取組みとなっています。

また、今問題となっている、海洋ごみやプラスチックの資源循環についても取組んでいきます。



# 向上で「GOOD JB」を目指します

まず第一弾としてカップ自動販売機に使用している発泡プラスチックラミネートタイプの紙カップを厚紙に変更いたしました。そして、飲料空容器再資源化工場「リサイクル・プラザJB」で処理したペットボトルについては、ボトルtoボトルの循環フローを構築しています。これらの取組みは継続して実施することが大切であると考え、今後も取組んでまいります。

## 「GOOD JB」を目指して

全国120支店の従業員同士のコミュニケーションも活性化させていきます。職場内ミーティングはもちろんのこと、他支店の優良事例について皆で共有するための報告会を開催していきます。従業員

一人ひとりの仕事に対する考え方やアイデアを皆で共有することで、更なる新しい発見が生まれてきます。このような組織風土をつくることで、お客様へのサービス力がアップし、さらに従業員の満足度向上にも繋がると考えています。

ジャパンビバレッジグループは、今後も一人ひとりが「GOOD JB」を目指し取組んでまいります。今後も末永いご愛顧を賜りますよう、よろしくお願ひ申し上げます。

株式会社ジャパンビバレッジホールディングス

代表取締役社長 及川 岡

### 経営理念

私たちは、魅力ある商品と最高のサービスを通じて人々に潤いを提供し、喜びに満ちた空間と出逢いを創造します。

### モットー

#### 1 「いちばん」を大切にします。

業界No.1のサービスと業績を目指します。

#### 2 「もっと」を大切にします。

明日はどうすれば、今日よりもっとよくなるかを考え、行動します。

#### 3 「ちゃんと」を大切にします。

ちゃんとした管理・サービス・行動により高品質を維持し、信頼と安全をお届けいたします。

#### 4 「やさしさ」を大切にします。

環境にやさしく、地域社会に歓迎されるよう努力を惜しません。

#### 5 「あなた」を大切にします。

喜びの創造に向か、「生き活き」とした魅力ある職場をつくります。

### ジャパンビバレッジグループ環境方針

制定:平成12年 8月1日

#### 基本理念

改訂:平成28年12月26日

ジャパンビバレッジグループは、地球環境が尊い資産であることを認識し社会に貢献する企業であり続けるために、事業及び社員一人一人の行動を通じ、あらゆる面での環境保全を積極的に推進し、潤いと喜びに満ちた持続可能な社会の創造を目指します。

#### 基本方針

我々は、自動販売機・リテール機による各種食品飲料の販売において、環境に配慮した「グリーン・オペレーション」を基本テーマに掲げ、事業活動に伴う環境への負荷低減を目指し、以下の方針に基づき環境保全活動を行います。

1. ジャパンビバレッジグループの事業活動、商品、サービスに関する影響を常に認識し、事業運営に即した環境目標を設定し、定期的に見直し環境汚染の防止に努めると共に継続的に改善します。
  2. 環境関連法令及びジャパンビバレッジグループが同意した、その他の要求事項を順守します。
  3. 環境に関する社内研修を繰り返し実施して、全従業員のレベルアップを図りお客様の環境保全活動の一助となれるように努めます。
  4. 重点的に取り組む内容については、以下のとおりとします。
    - ①自動販売機・リテール機による環境負荷を低減し、地球温暖化防止を推進します
    - ②車輌に関わる環境負荷を低減し、地球温暖化防止を推進します
    - ③3R(リデュース・リユース・リサイクル)に努めます
    - ④事業所において水を大切に取扱い、自然界における水の健全な循環に貢献します
    - ⑤事業所におけるエネルギー使用の効率化に努めます
  5. 環境保全を行なう地域・企業・団体等の活動に協力します。また利害関係者に対しても、環境保全活動の理解と協力を要請し、積極的な情報開示に努めます。
- 本環境方針は、組織で働くまたは組織のために働くすべての人々に、周知すると共に一般に開示します。

# ジャパンビバレッジグループの事業と取組み紹介

ジャパンビバレッジグループは、業界No.1の自動販売機オペレーターとして、お客様のご希望にお応えできるよう、品質や環境、社会活動などを基盤にしたサービスを行い、お客様にうるおいをお届けします。

## パッケージ自動販売機事業

春・夏・秋・冬の季節に合わせた各種飲料メーカーの人気商品を取りそろえ、お客様のご要望と業態に合わせた商品構成を提案しています。

また、食品の自動販売機をあわせて設置することで、オフィスや職場に休憩スペースを実現することも可能です。



## カップ自動販売機事業

本格レギュラーコーヒーをはじめとしたカップ飲料を展開しています。季節に合わせて商品を変更し、バリエーション豊かな飲料を皆様に提供します。

また、昨年より脱プラスチックの取り組みの1つとして、発泡プラスチックラミネートタイプの紙カップをラミネートの無い厚紙カップに変更しました。



## リテール事業

オフィスでの休憩に欠かせないマルチドリンクサーバー(自動粉末給茶機)とコーヒーサーバーなどを展開しています。お茶、コーヒー、紅茶などの定番商品をはじめ、ジャパンビバレッジオリジナル

の商品も展開しています。お客様のご要望に応じて、バラエティ豊かな商品のラインナップで対応いたします。



ジャパンビバレッジオリジナル商品

## ジャパンビバレッジグループのグリーン・オペレーション

提案 販売 回収 適正処理 資源再生

をトータルでコーディネートしています。



## スポーツ(レスリング部)

ジャパンビバレッジのレスリング部は、1978年に男子レスリング部として発足し、1989年には女子レスリング部も発足しました。昨年創部40周年を迎え、これまで男女合わせて歴代15名の選手が在籍し、ソウル五輪金メダルの小林孝至選手、ロサンゼルス五輪銀メダル、バルセロナ五輪銅メダル

の赤石光生選手、アテネ五輪、北京五輪で銅メダルを獲得し、ロンドン五輪にも出場した浜口京子選手をはじめ数々のオリンピアン、メダリストを輩出しております。

これからも、レスリング選手の育成とスポーツ振興に努め、皆様に感動をお届けしてまいります。

### 所 属 選 手

#### 川井 梨紗子 (かわい りさこ)

2016年リオ五輪(63kg級)へ出場し、五輪初出場ながら金メダルを獲得。2017年4月よりジャパンビバレッジレスリング部へ所属し、2017年、2018年の世界選手権を連覇。この勢いで2020年東京オリンピックを目指します。



川井梨紗子

#### 藤波 勇飛 (ふじなみ ゆうひ)

2019年4月より当社レスリング部の一員となりました。  
皆様、温かいご声援をよろしくお願いします。

【出身大学】

山梨学院大学

【主な戦績(2018年度)】

- ・アジア大会3位(フリースタイル74kg級)
- ・全日本大学選手権1位(フリースタイル74kg級)
- ・全日本選手権1位(フリースタイル74kg級)

#### 新入部員



藤波勇飛

# 特集 1

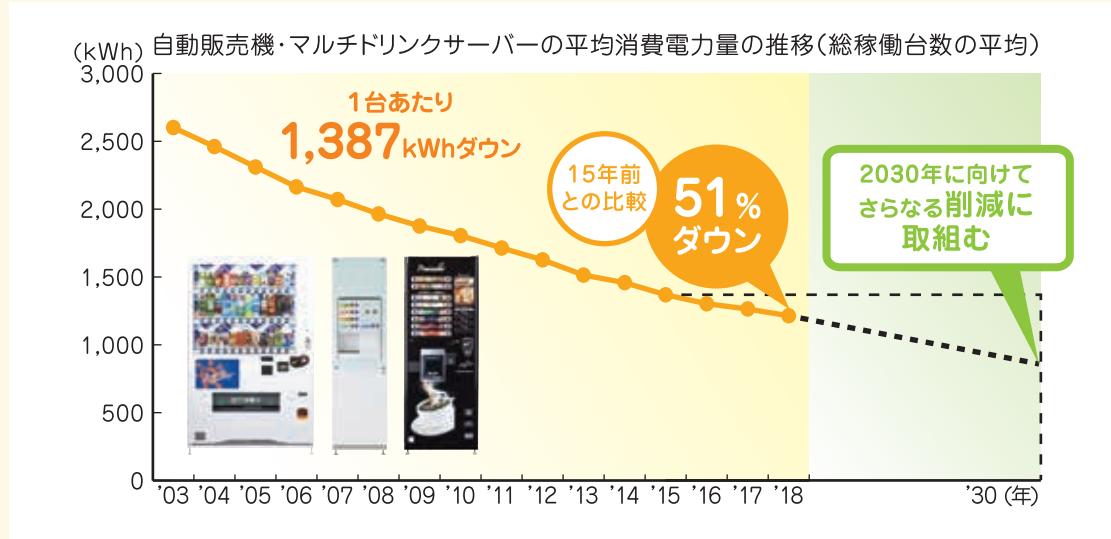
# 低炭素をはじめとする 持続可能な社会の実現に貢献します

## 自動販売機の取組み

## 自動販売機における消費電力量の削減

ジャパンビバレッジの事業活動で最も大きな環境影響を与えるのが自動販売機です。総稼働台数の1台あたりの平均消費電力量(2018年)は15年前に比べて51%減少し

ています。今後も、省スペースタイプの小型機等、省エネ機を導入し、2030年に向けてさらに削減できるよう取組んでいきます。



## オペレーションの取組み

## 無線システムの導入

ジャパンビバレッジのコンビ機・一部メーカー機にて無線システムを隨時導入しています。これまでの自動販売機オペレーションでは、直接設置場所に赴いて自動販売機からデータを取得する必要がありましたが、無線導入後は離れた

場所でもデータを取得することができるようになりました。自動販売機の販売状況のデータを随時取得することで、売り切れの防止を図ります。また、ルートセールスの巡回効率をアップすることで、働き方改革の推進にも繋がっています。

## 無線システム導入前・後の比較



ジャパンビバレッジは、持続可能な社会に向けて

中長期目標を掲げ、「自動販売機」「オペレーション」

「事業所」それぞれの場面にて

取組みを行っています。



### 事業所の取組み

### LED照明への切り替え

事業所内や倉庫の照明をLEDに切り替え、消費電力量の削減に努めています。またISO環境目標にも「事業所内省エネの実施」を目標に掲げ、グループ全体で年間1%の消費電力量を削減できるよう取組んでいます。



倉庫のLED照明



事務所のLED照明

## SDGsとジャパンビバレッジ

2015年9月の国連総会で採択された「持続可能な開発目標(Sustainable Development Goals, SDGs)」は、2030年までに全世界が持続可能な開発をしていくうえで取組むべき17の目標で構成されています。企業としても取組んでいく必要があり、ジャパンビバレッジはこの中で大きく関わり得る3つの目標を重点テーマと認識し、取組んでまいります。



### 【ジャパンビバレッジとSDGsとの関わり】



#### 働きがいも経済成長も

- ◎柔軟な働き方の推進による生産性の向上
- ◎従業員の健康づくりを推進



#### つくる責任つかう責任

- ◎資源の持続可能な管理
- ◎廃棄物の削減
- ◎環境教育提供による情報発信



#### 気候変動に具体的な対策を

- ◎CO<sub>2</sub>排出量の削減計画(2030年環境目標)

# 資源循環の取組み

限りある資源を循環させるために

「リサイクル・プラザJB」の運営をはじめとして、缶・ビン・ペットボトル等の空容器の資源循環に取組んでいます。また、世界中で話題となっているプラスチック処理問題についても取引先企業等と情報共有を図っています。

## 飲料空容器再資源化工場「リサイクル・プラザJB」

ジャパンビバレッジは自ら飲料空容器の再資源化を行うべく、リサイクル・プラザJBを2003年5月に設立しました。現在は、東京・埼玉・千葉・群馬にある24支店の缶・ビン・ペットボトルの再資源化を行っています。当工場の最大の特徴は缶のリサイクルです。金属加熱炉にて缶を800℃の熱風にて処理する「還元乾留加熱方式」を採用しています。これによりできた「ペレット」は付加価値が高く、製鉄会社にて鉄やアルミの原材料・副原材料等として幅広く使われています。

缶	金属加熱炉にてペレットに加工した後に製鉄会社へ出荷
ビン	ビンの色別(茶・白・緑)に分別した後にガラスリサイクル企業へ出荷
ペットボトル	手選別の後、ペール品に加工し、ペットボトルリサイクル(ボトル to ボトル)企業へ出荷

●リサイクル実績  
(2018年度) **6,638t**



リサイクル・プラザJB外観



金属加熱炉

## 缶・ビン・ペットボトル等のリサイクル

株式会社米田商店様

### 関西エリアの再資源化を担っています

株式会社米田商店様は1957年に製紙原料の回収を業として創業し、現在はジャパンビバレッジウエスト11支店の缶、ビン、ペットボトル、紙製容器の処理をご担当いただいています。

搬入された飲料空容器は、手選別した後、容器ごとに処理します。また、選別しきれず残ってしまったものについてもすぐ廃棄処分せずに再度選別し、大切な資源を1つでも多くリサイクルすることを徹底しています。

創業時から紙を10種類以上に分別しており、分別を徹底することで廃棄物を有価物へ変え、限りある資源の有効利用に積極的に取組まれています。

缶	スチール缶・アルミ缶ごとに圧縮加工後出荷
ビン	ビンの色別(茶・白・その他)に色分けした後にガラスリサイクル企業へ出荷
ペットボトル	破碎、洗浄、乾燥をした後、混合ミックスフレークにし、国内企業にて循環
紙製容器	手選別、破碎、洗浄した後に製紙会社へ出荷



株式会社米田商店 常務取締役 米田潤士様



株式会社米田商店



## プラスチック処理問題への取組み

近年、海洋に流入するプラスチック等のゴミが、生態系に影響を及ぼすとして、世界的な問題となっています。飲料業界では各企業様にて環境・社会活動の中で取組みが進められています。ジャパンビバレッジは、これらの問題にどのように取組んでいけばよいかを考える機会として飲料メーカー様をお招きし、「企業研修会」を定期的に主催しています。2019年1月に開催した会では、海洋ごみやプラスチック処理問題について環境省様や外部有識者を招いて講演をいただき、最新情報を共有しました。



企業研修会

## ジャパンビバレッジが提供する環境学習

リサイクルや環境の問題を皆様と共に考えしていくために、リサイクル・プラザJBの工場見学をはじめとした様々な環境学習の場を用意しています。大人はもちろん、未来を担う子どもたちにも、リサイクルの現状を知ることで、物や資源の大切さに気づき、自らの行動に繋げてもらえるよう学習プログラムの充実を図っています。

### 2018年度の実績

リサイクル・プラザJB  
工場見学

【来場者】1,074人

環境出前授業

【参加学校数】小学校 6校

「第8回ぼくとわたしの  
リサイクル」作文コンクール

【対象者】小学生

【応募数】1163通

各種フェアへの出展

SAITAMA環境フェア&  
こどもエコフェスティバル



環境出前授業



作文コンクール表彰式

### 担当者の声

## 「実感できる」環境学習を提供するために

リサイクル・プラザJBの工場見学や環境出前授業などで、多くの皆様に環境学習を提供できるよう取組んでいます。

その中の1つである小学生を対象とした作文コンクールには、毎年多くの子どもたちが応募してくれています。作文には、ご家庭でのゴミの分別方法や、学校で友達と一緒に考えた3Rの取組み内容など、大人にはない豊かな発想や斬新なアイデアが多く書かれており、私自身もとても勉強になっています。今後も、皆様からいただいたご意見やアイデアを活かし、「実感できる」環境学習の場を提供できるよう努めています。

株式会社ジャパンビバレッジエコロジー 環境部 嶋松奈央

という会社がつくった工場です。



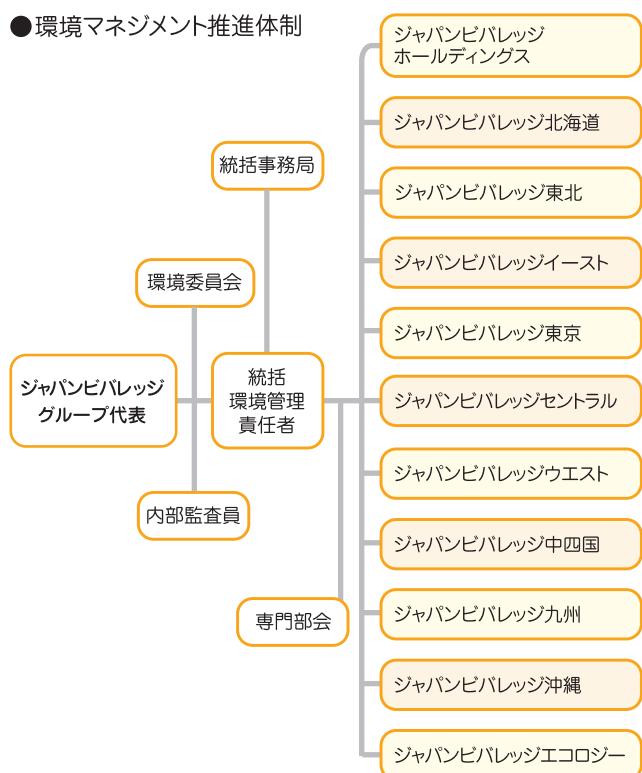
# 環境マネジメント&パフォーマンス報告

## 環境マネジメントシステム

ジャパンビバレッジの環境マネジメントシステムを継続的に推進するため、組織、役割および責任を定めています。

現在は、グループ11社の本社・支店の合計120サイトで運用を行っています。

### ●環境マネジメント推進体制



## 内部監査の実施

ジャパンビバレッジは全サイトの内部監査を実施しています。内部監査を実施する全国95名の「内部監査員」は、研修を毎年受講してISO14001の知識を維持しています。事業活動のさらなる改善・発展に向けて取組んでいます。



内部監査の様子

## ISO14001更新審査

ISO14001の更新審査を2018年9月10日～14日、10月10日～12日の日程で実施しました。37サイトが審査を受け、10月30日に無事認証継続が決定しました。

(審査会社:エイエスアール株式会社)



ISO更新審査の様子

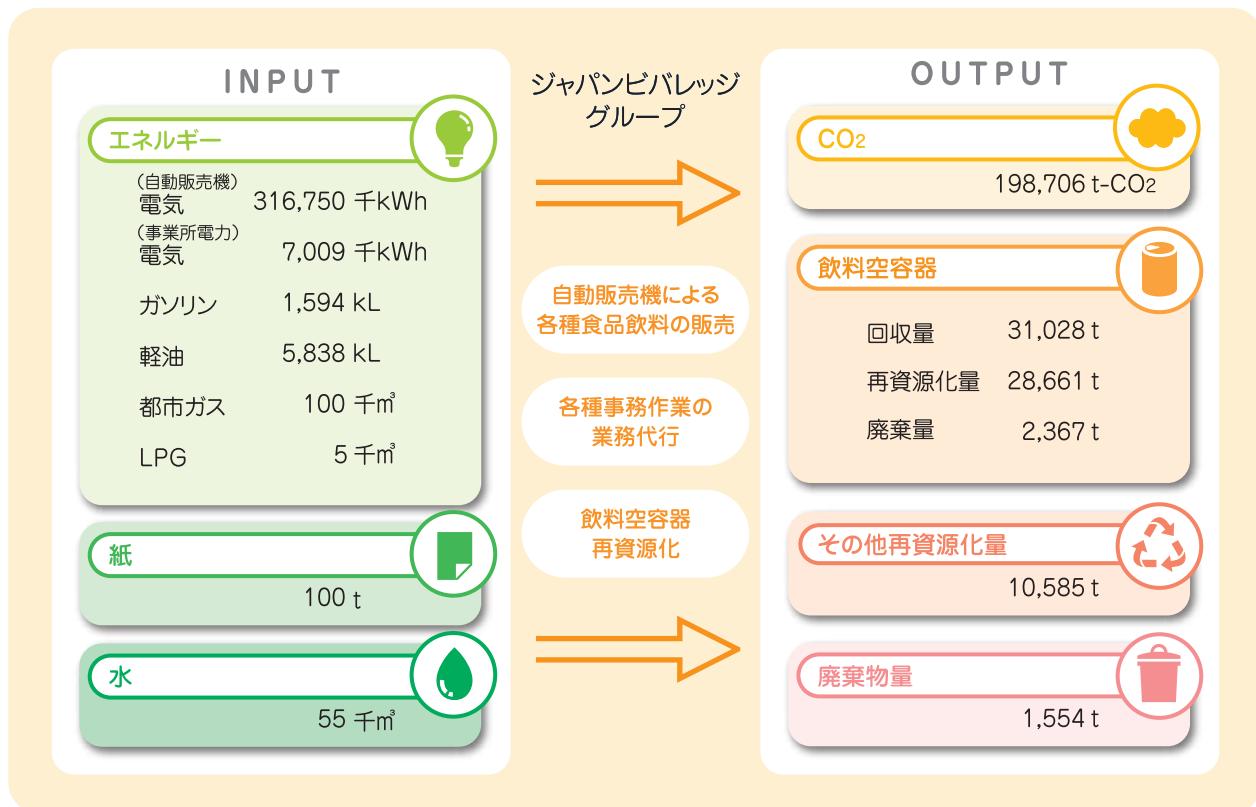
## 環境目標と実績

ジャパンビバレッジグループは、「グリーン・オペレーション」をテーマに掲げ、環境活動を行っています。2018年度は、オペレーション車輌走行距離、商品廃棄率、事業所内の

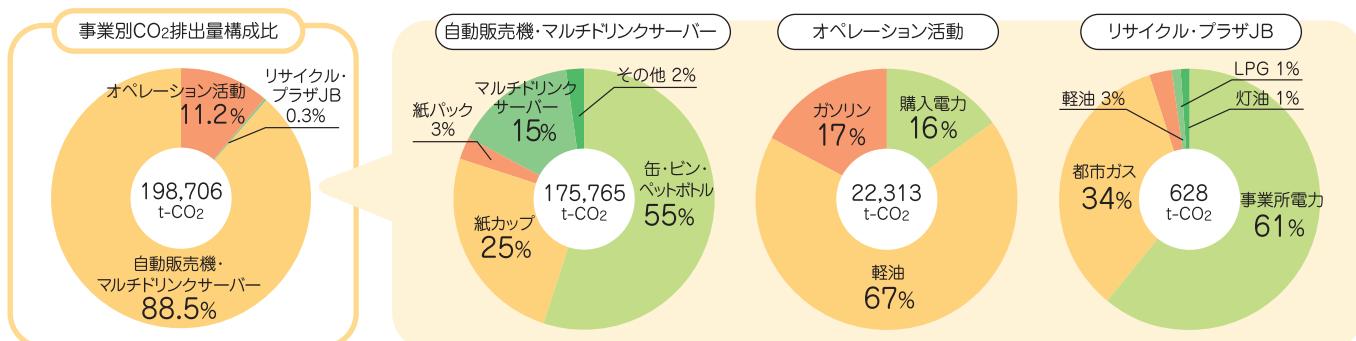
省エネについての3つの環境目標を掲げ取組みました。結果は以下の通り、2つの目標を達成することができました。

目 標 内 容	目 標 値	目標達成率	評 価
① オペレーション車輌走行距離の削減	オペレーション車輌走行距離(台あたり)を2017年度の実績以下にする	104%	○
② 商品廃棄率の維持	2017年度の商品廃棄率を維持する	57%	×
③ 事業所内省エネの実施	グループ全体の消費電力量を2017年度比で1%削減	101%	○

## 事業活動における資源投入量と排出量



### 2018年度事業別CO<sub>2</sub>排出量構成比



### CO<sub>2</sub>排出量推移

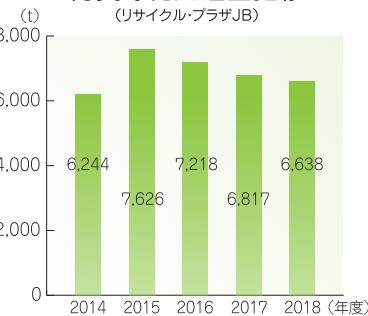


\*2014年度は9か月間の数値となっております。

### 再資源化処理量推移



### 再資源化処理量推移



## 特集 2 お客様とのかかわり 自動販売機・リテール機の価値向上を通じてお客様を支援します

### 「価値ある」自動販売機・リテール機をつくるための報告会

ジャパンビバレッジのルートセールスは、日々の自動販売機・リテール機のオペレーション活動を通じて、お客様に喜んでいただける自動販売機や商品ラインナップを提供するために様々な工夫を行っています。

毎月開催している報告会には、各支店のルートセールス、ルートマネージャーが参加し、自動販売機・リテール機の好事例を報告しています。それらの情報を全社で共有することで、より「価値ある」自動販売機を展開していきます。



様々な自動販売機・リテール機



報告会の様子(グループディスカッション)

### ●株式会社ジャパンビバレッジ北海道 リテール札幌支店の「価値ある」リテール機

リテール札幌支店は、リテールの専門部署なのでお客様と直接お話を機会が非常に多いです。積極的にコミュニケーションが取れるようその教育に力をいれるほか、職場内ではミーティングを毎月行い、事例報告などを通じて社内で情報共有を図っています。

また、北海道特有の取組みとして、お客様に提供しているコーヒーサーバーの付帯サービスが不要な場合、その分をポイントに還元する取組みを行っています。ポイントがたまると別の品物と交換できる仕組みとなっており、必要なものが必要なだけ提供するこの取組みは、お客様にも喜ばれ、環境にも配慮した取組みとなっています。



(左)ルートセールス 錦田大輝  
(右)ルートマネージャー 宮本博文



リテール札幌支店の発表の様子

全国で約26万台稼働している自動販売機・  
リテール機。それらの日々のオペレーションを  
担当しているルートセールスは、  
より良い自動販売機づくりに取組んでいます。



## ●株式会社ジャパンビバレッジ東北 岩手支店の「価値ある」自動販売機

「自動販売機オペレーションは飲料を販売する仕事である」と常に意識し、お客様はどのような時に何が飲みたいのか、シチュエーション別に考えて自動販売機を構成しています。

例えば、喫煙所近くの自動販売機では、タバコとコーヒーをセットで楽しみたいお客様が多いため、コーヒー商品のラインナップを充実させたり、公共施設の自動販売機では季節のイベントに合わせたデコレーションをしてみたりと、1台1台工夫を凝らしています。

この自動販売機オペレーションの仕事に多くの従業員がやりがいを感じています。これからも様々な、「価値ある」自動販売機づくりに取組んでまいります。



(左)ルートマネージャー 阿部秀司  
(右)ルートセールス 菅原雄太



岩手支店の発表の様子

### TOPICS

## ジャパンビバレッジの防災への取組み

### 災害時飲料提供自動販売機

災害発生時にはキースイッチなどで飲料を提供することができる自動販売機です。なお、バッテリー搭載タイプの場合は災害による停電時でも飲料の取出しが可能です。



災害時飲料提供自動販売機

### 防災訓練

各部署では万が一の災害に備えた防災訓練を定期的に(年1回以上)行っています。災害時の被害を最小限に抑え、従業員の安全を確保できるよう取組んでいます。



防災訓練の様子

### 災害ボランティアへの参加

2018年6月から7月に西日本を中心に発生した豪雨(平成30年7月豪雨)では、8月および10月に災害ボランティアの募集・派遣を行いました。

現地では、室内清掃、土砂除き、家具等の搬出、家周りの清掃などを行い、少しでも被災地のお役に立てるよう活動しました。

# 地域社会とのかかわり

地域社会との絆を深めるために

全国に点在するジャパンビバレッジの各支店では、地域の皆様との交流を目的とした独自の取組みを行っています。お客様主催によるイベントや、地域の清掃活動などを通じてコミュニケーションを図り、地元に根ざした活動を行っています。

## 各支店での地域・お客様とのかかわり

### ●株式会社ジャパンビバレッジ東北 本社・仙台支店 みやぎ元気マラソン2018に出場

株式会社カツヨシ商事様が主催する「みやぎ元気マラソン2018」(2018年7月16日開催)は、人が出会い・交流し、宮城・東北へ「元気」を発信する大会として、開催されています。ジャパンビバレッジ東北は本大会への協賛、そして出場をいたしました。

「ちびっこ元気400mラン」や「1時間耐久NIGHTファンラン」などの10種目がある中、社内募集で集まった精銳6名で「2時間耐久リレー」に出場し、2時間を走りきりました。地域の皆様と交流し、体力向上にも繋がり充実した1日となりました。



みやぎ元気マラソン2018 「2時間耐久リレー」の様子



2時間耐久リレー出場メンバー

### ●株式会社ジャパンビバレッジ東京 新宿支店 社会医療法人 河北医療財団様主催 around杉並健康ライフ2018 に出展

社会医療法人 河北医療財団様は、環境への取組みの1つとして環境マネジメントシステム委員会を運営し、全員参加で環境活動に取組まれています。

病院内にはジャパンビバレッジの自動販売機を設置いただいており、同財団が主催する「around杉並健康ライフ2018」(2018年11月4日開催)の環境活動展示コーナーに、飲料空容器がどのようにリサイクルされているかを展示いただきました。来場者には事務局の落合様よりリサイクルフローをご説明いただき、多くの皆様にリサイクルについて知っていたたくことができました。



杉並健康ライフ2018 ポスター



展示の様子



展示の様子



## 各地での清掃活動

ジャパンビバレッジはそれぞれの地域で清掃活動に取組んでいます。事業所周辺のゴミ拾い、地域団体主催の清掃イベントへの参加など、実施内容は事業所によって様々です。



ゴミゼロキャンペーン市民清掃活動への参加  
(ジャパンビバレッジエコロジー)



福島工業団地内清掃活動への参加  
(ジャパンビバレッジ東北 福島支店)



事業所近隣の清掃活動  
(ジャパンビバレッジイースト 甲府支店)



事業所近隣の清掃活動  
(ジャパンビバレッジイースト 立川支店)



事業所近隣の清掃活動  
(ジャパンビバレッジセントラル 沼津支店)



事業所近隣の清掃活動  
(ジャパンビバレッジセントラル 安城支店)



事業所近隣の清掃活動  
(ジャパンビバレッジ北海道)

### TOPICS

## 沖縄クリーンコーストネットワークへの支援

沖縄クリーンコーストネットワークは、海岸清掃などを通して沖縄の豊かな自然を守る活動を行っている団体が連携するネットワークです(事務局:第十一管区海上保安本部)。

ジャパンビバレッジは、毎年実施される「まるごと沖縄クリーンビーチ」のCM協賛などを通してこの活動を応援しています。また、ジャパンビバレッジ沖縄、ジャパンビバレッジエコロジーも「まるごと沖縄クリーンビーチ」に毎年参加することで、沖縄の海を守るお手伝いをしています。



沖縄クリーンコーストネットワークへの支援

まるごと沖縄クリーンビーチへの参加

# 従業員とのかかわり

活き活きとした職場をめざして

ジャパンビバレッジは、職場ミーティングや各部署でのレクリエーションを定期的に行うことにより、職場を活性化して従業員満足度の向上を図り、働き方改革の推進に繋げていきます。また、障害者雇用にも取組んでいます。

## 働き方改革の取組み

### ●より良い職場づくりに向けて

より良い職場づくりに向けて、職場の運営状態を分かりやすく可視化することを目的とした社内調査「職場天気図」を実施しました。職場天気図は、各職場の組織風土などに関するアンケートを従業員に実施し、その結果を「天気」で表したものです。晴れ・曇り・雨などの天気マークで表しており、分かりやすいのも特徴です。その後、この結果を踏まえて、今後の具体的な改善活動について皆で議論するための「職場ミーティング」を実施し、活発な議論の結果、それぞれの職場の行動目標としての「職場方針」を策定しました。

このような、一連の取組みは、職場コミュニケーションの質と量を向上させると共に、一人ひとりの参画意識を高め、組織を活性化する契機となっております。

お客様により良いサービスを提供していくためにも、今後も引き続き、より良い職場づくりを進めていきます。



職場ミーティングの様子



研修の様子

### ●各種研修の実施

各種研修(フォローアップ研修・安全運転研修・コンプライアンス研修・環境研修等)を定期的に実施し、人財育成・組織風土の向上・効率的な組織運営づくりを行っています。

### ●JBレク活動

JBレク活動は、従業員の要望によりうまれた従業員同士の交流の場です。部署毎にレクリエーションを企画し開催しています。内容は、「ボーリング大会」「バーベキュー」「お花見」「食事会」など部署によって様々です。各部署からは「勤務時間の違う方とも話せてよかったです」「子供も一緒に参加でき、充実した一日だった」など、親睦を深められたとの声が多く寄せられています。



ジャパンビバレッジウエスト滋賀支店



ジャパンビバレッジ中四国 広島支店



## 障害者雇用の取組み

### ●個性を活かした障害者雇用

障害者の皆様の個性を活かした雇用体制を構築しています。採用職種の一例として、商品管理補助、サーバー機のオーバーホール(※)・洗浄、リサイクル・プラザJBでの作業などがあります。また、特別支援学校の先生を対象とした説明会や、職場体験の受入れを行うことで、障害者の皆様が安心して働ける環境を整えています。

※各種整備、メンテナンスなど。



職種の一例:商品管理補助

### 第三者意見



杏林大学総合政策学部  
教授 齊藤 崇氏

近年、海洋ごみ問題への世界的な関心が高まり、資源循環に関する取組みが進められている。そうしたなか、日本でもプラスチック資源循環戦略についての議論が活発になされている。また気候変動に関しても、温室効果ガスの排出削減をさらに進めていかなければならない状況にある。

ジャパンビバレッジでは、業界No.1の自動販売機オペレーターとして、そのような資源循環や気候変動の課題に積極的に取組んでいる。例えば、カップ自動販売機で使用する紙カップについて、

発泡プラスチックラミネートタイプから、ラミネートの無い厚紙タイプのものに変更している。また自動販売機の無線システムの導入を進めており、商品の売り切れ防止を図るだけでなく、オペレーションをよりスマーズに行うことが可能になっている。この取組みは、生産性を高めるだけでなく、オペレーション活動に伴うエネルギー消費の削減に繋がることが期待できる。

では、そのような取組みがどのような成果をあげているだろうか。2018年度の環境目標の達成状況についてみると、オペレーション車輌走行距離の削減および事業所内の省エネ実施という2つについては、目標が達成されている。CO<sub>2</sub>の排出量も年々減少しており、このような取組みをさらに進めていって欲しい。一方、商品廃棄率については、目標を達成できず、達成率も57%となっていることは残念である。前期は商品の廃棄本数削減の目標を掲げ、大幅な削減を達成していたが、今期は

その水準の維持が出来なかったようである。目標が達成できなかった要因について丁寧に分析し、次期は是非達成できるようにして欲しい。

ジャパンビバレッジでは、環境学習の場も積極的に提供している。小学生を対象とした作文コンクールを毎年実施しているだけでなく、出前授業にも取組んでおり、リサイクル・プラザJBへの工場見学者も多い。地域での清掃活動といった社会貢献にも熱心なほか、従業員の働き方改革を進めるなど、社会が直面する課題にも様々な形で取組んでいる。ジャパンビバレッジのさらなる活躍に今後も期待していくたい。

#### PROFILE

慶應義塾大学経済学部卒業。慶應義塾大学大学院経済学研究科後期博士課程単位取得退学。博士（経済学）取得。慶應義塾大学グローバルセキュリティ研究所、鹿児島国際大学経済学部を経て、現在、杏林大学総合政策学部教授。専門は環境経済学、環境政策。



## 「Japan Beverage Report 2019」を お読みいただき、ありがとうございました。 皆様のご意見、ご感想をお寄せください。

本レポートは、ジャパンビバレッジグループの理念と事業の現状、  
および環境・社会活動の内容をステークホルダーの皆様にわかりやすく  
お伝えすることを目的に発行しています。

皆様からご意見、ご感想をいただき、  
活動の内容や本レポートをより良いものにしていきたいと考えております。  
つきましては、お手数ですが裏面のアンケートにご記入の上、  
ファックスにてお送りいただけすると幸いです。

2019年5月

本レポートに関するお問合わせ先

株式会社ジャパンビバレッジエコロジー  
〒331-0811 埼玉県さいたま市北区吉野町二丁目272番地5  
TEL:048-651-1166 FAX:048-651-6611  
ホームページ <http://www.jbinc.co.jp>

### 「Japan Beverage Report 2018」に寄せられたご意見

#### ご意見(抜粋)

- ◎1つ1つの事業内容がとても分かりやすく、ジャパンビバレッジのことをより深く知ることが出来た。
- ◎地域の清掃活動はとてもよい取組みなので広げて行ってほしい。
- ◎支払明細のWEB化の記事が印象的でした。  
自動販売機のお客様からの問い合わせ事項なども掲載してほしい。

ご意見をふまえ、内容をよりわかりやすくするため  
下記の通り改善を図りました。

#### 改善内容

- ◎今年から販売各社の情報を掲載しました。
- ◎各地で行っている清掃活動事例をまとめて掲載しました。
- ◎お客様との関わり事例として、お客様主催によるフェアやマラソン大会への参加を掲載しました。



# 「Japan Beverage Report 2019」へ 皆様のご意見、ご感想をお寄せください。

## Q1 本レポートを読んでどのように感じられましたか。

- 全体評価 .....  良い  普通  良くない  
内容のわかりやすさ .....  わかりやすい  普通  わかりにくい

## Q2 本レポートのなかで関心のあった内容をお聞かせください(複数選択可)。

- ジャパンビバレッジグループの事業概要(p2)
- トップメッセージ(p3-4)
- ジャパンビバレッジグループの事業と取組み紹介(p5)
  - 環境報告
  - 特集1 低炭素をはじめとする持続可能な社会の実現に貢献します(p7-8)
  - 資源循環の取組み(p9-10)
  - 環境マネジメント&パフォーマンス報告(p11-12)
    - 社会性報告
    - お客様との関わり
  - 特集2 自動販売機・リテール機の価値向上を通じて、お客様を支援します(p13-14)
  - 地域社会とのかかわり(p15-16)
  - 従業員とのかかわり(p17-18)
  - 第三者意見(p18)

ジャパンビバレッジグループの取組みについての  
ご意見・ご感想、良い点や改善すべき点があればお書きください。

## Q3

## Q4 どのようなお立場でお読みになりましたか。

- お客様  近隣住民の方  お取引先  政府・行政関係  教育・研究関係
- 金融・投資関係  NGO・NPO  報道機関  企業のCSR・環境担当者
- ジャパンビバレッジグループの社員・家族  学生  その他( )

## Q5

## あなたのプロフィールについてお聞かせください。

- 年 齢 .....  10代  20代  30代  40代  50代  60代  70代以上  
性 別 .....  男性  女性



## ジャパンビバレッジグループ

ホームページ <http://www.jbinc.co.jp>

●発行・お問合わせ先

株式会社ジャパンビバレッジエコロジー

〒331-0811 埼玉県さいたま市北区吉野町二丁目272番地5  
TEL:048-651-1166 FAX:048-651-6611



この印刷物は、有害な廃液を排出しない水なし印刷を採用しています。また、大豆油インキを包括した植物油インキと適切に管理された森林の木材を利用したFSC認証用紙を使用しています。